

平成 30 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 尾上 正人

最終学歴	東京大学大学院人文社会系研究科第一種博士修了	
取得学位	博士（社会学）	
所属学会	日本社会学会、関西社会学会、経済社会学会、「宗教と社会」学会	
専門分野	産業社会学、社会生物学	
研究課題	人間社会の諸現象へのダーウィニズムの適用可能性	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・産業社会学 ・産業と技術の発展 ・演習 I～IV
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・応用社会学特論 I・II
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学基礎
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援センター長 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④				
(学術論文) ① ② ③ ④				
(学会発表) ① ヒトの言語とFOXP2遺伝子—ヒューマン・ユニヴァーサルズからアニマル・ユニヴァーサルズへ ② ③ ④	単独	2018年9月	第91回日本社会学会大会@甲南大学	ヒト特有のものである言語は思考や概念化とは関係のない性淘汰に起源を持つことを展望し、またFOXP2遺伝子の研究等から、言語獲得以前の動物の脳の側性化とも関連付けられることを示した。
(その他) ① ② ③				